

香南市の「3」をたくさん紹介します

サンサンと輝く太陽のもと平成18年3月1日、香南市は誕生しました。

3周年の今年は、観光情報センターや赤岡保育所の落成、それを受けての災害避難所の設置など安心・安全のまちづくりを進めてきました。また市内の学校では環境学習に力を入れ、子どもたち自ら自分たちの住みやすい、きれいなまちを作ろうと頑張っています。

私たちのまちは3月1日に3周年を迎えました。3月号は記念企画としてミスマーメイドの案内で市内の気になる「3」を紹介します。

香南市観光大使の
荒木と岡村です！



今回は3周年にちなんで香南市にある「3」を紹介していきます。市内で見つけたたくさんの「3」。みなさんはいくつ知っていますか？

三宝山



香南市のどこからでも見ることができるのは金剛山、通称「三宝山」です。金剛山に土佐町の三宝山地福寺の仏様を勧請したことから三宝山と呼ばれるようになったと言われています。山の中腹に3つの宝が眠っているというもう一つの説にはロマンがありますね。

山北みかん



香我美町の山北地区を中心に市内各地で生産されている山北みかん。糖度が高く、とっても甘いです！日本最古の温州みかんと言われる「長寿みかん」も毎年元気に実をつけています。

サンホール



のいちふれあいセンター2階にある「サンホール」は客席数約540席の中規模ホールです。今年は成人式にも使用されました。ホール名は公募で平成8年10月に決まったそうです！

三線



毎年、赤岡町の土佐赤岡絵金祭りや歌舞伎を演じている土佐絵金歌舞伎伝承会が弁天座の開館イベントでも演じました。狂言の曲名で、大蔵流では「三番三」と書くそうです。狂言では能の「翁」と同じように祝福の能として演じられます。3周年にもぴったりですね！

三つ子

香南市の姉妹都市「沖縄県八重瀬町」などに伝わる弦楽器。市役所の市民室にも飾られています。

香我美町の小松家は3つ子の3姉妹。現在おれんじ保育所のきりん組(3歳児クラス)に通っています。お母さんの治子さんは市内の沖縄音楽グループ「みはいゆ」のメンバー。三線や歌を担当しています。



小松治子さん(香我美町)
未来ちゃん 愛ちゃん 結ちゃん

山海交流市場



毎年12月29日に夜須町住吉漁港で住吉海鮮倶楽部主催の直販市が開催されています。市価よりも安く手に入るため、大勢のお客さんにぎわっています。マグロ・長太郎貝・伊勢エビなど、地元で捕れた海産物や、嶺北牛・新鮮な野菜・イノシシなどの山の幸も買うことができますよ！

三番叟



三又



野市町の三又(市指定史跡)は自然を感じるウォーキングコースになっていて、季節を問わず、たくさんの人が訪れています。野中兼山により、正保元年(1644)から通水し始め、水路が大きく3つに分かれているのが特徴です。県内でも、類を見ない珍しい史跡だそうです。